

◆九頭竜川流域委員会における論点整理（発言要旨集）第28回◆

| 発言状況等 | 内容区分 | | | 分野 | 発言要旨 | 主意 | ID |
|-----------|------|----|----|-------------------|---|---|------|
| | 質問 | 課題 | 提案 | | | | |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 地域との連携 (住民説明会) | 会場の様子は数十人ぐらいでした。スタッフの方が多かった会場も見られるぐらいで、少なかつたという印象を受けました。やはり周知といたしまして、広報の点が弱かつたのではないかと。説明の中身で、治水問題と環境問題の説明が中心だったかと思いますが、環境についての説明はやはり弱い、時間的にも少なかつたという気がします。治水の問題の中でダムの問題については、穴あきダムと専用ダムの違いとか、かなり専門的な説明であつたために、一般の方にはわかりにくかつたのではないかと。 | 説明会に参加した感想として、「説明内容が専門的で少しわかりにくかつた」、「環境に対する説明が治水と比べ少なかつた」、「説明会の参加者を募る周知が弱かつた」という印象を受けた。 | 2801 |
| 第28回流域委員会 | ○ | | | 地域との連携 (住民説明会) | 事前にこのパンフレットをいただいております、中を比較させていただいたら、この委員会での意見というのがそれぞれ3部とも中身が違うんですね。それで、これだけを地元の人に出すのでは、委員会として今まで審議したことが物すごく伝わりにくいということでもお願いしましたら、大野の会場では当日別刷りのものを一緒に配布していただきました。委員会でのパンフレットに掲載されていない意見というものを、環境、治水、利水その他をつけていただいたんですけれども、大野の場合は多分開催が一番最後だったと思うので、そのほかの会場では、住民の方々にそういう情報が正確に伝わつたのかちょっと危惧するところがございます。 | 説明資料の概要版に流域委員会で出された意見が掲載されているが、流域毎に掲載内容が異なつていた。委員会として今まで審議してきた内容が、流域毎に違つて伝わつたのではないかと？ | 2802 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 地域との連携 (住民説明会) | 結局関心度の度合いによって参加者が多くなつたり少なくなつたりしているということがあります。PRの方法が悪いとか、説明会の説明の仕方が悪いということではなくして、これだけの豪雨でも、ある程度めどが立つた上での説明会であつたので、余り盛り上がりなかつたと言われればそうかもしれません。参加人数でもって是非を問うのではなくして、やはり2年余り流域委員会でもって審議されて、その中で発言されたことが大方の形で住民の声として浮かび上がつていふことを見ますと、決して住民も関心がないわけではない。 | 説明会の参加者が少ないのはPRが不十分なのではなく、川づくりに対する住民の関心度の度合いもあるのではないかと。参加人数で是非を問うのはどうかとも思う。 | 2803 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 治水 (河川整備) | 部子川でダムをつくつて水海川から川導水で取つてくるというのを、すべて常時水海川の水を部子川へ持つてくるような考えを持っている人が、今では大分少なくなりましたけれども、そうではなく、洪水が起きたとき、水海川から部子川へ導水管で持つてくるということのPRを余りしていない。従来のような一括した本流でもつてとめたダムとの違いという点をもう少し理解してもらつよう、住民なりに言つていただければ皆が安心するのではないかと。ただ、地域の者とすると、ダムで沈む者とすると、穴あきダムでは余りにも寂しいから水ためダムにしてほしい。それが水没者の生の本当の切なる声であるということをお伝えして、皆さん方の御協力をお願いしたいと、かように思います。 | 足羽川ダムと導水路の計画となつてはいるが、導水路の特徴についても説明して理解を求めた方がいい。ただ、水没者にとって治水専用ダムではあまりにも寂しいので、水を貯めるダムにして欲しい。 | 2804 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 流域委員会での検討のスタンス | ダムのあり方については、大分前まで議論はしたんですね。それから、今回去年のことがありまして、そのことにはある程度議論を深めない状態に今に至つてはいる。どこかでその話をせざるを得ないんですが、なかなか議論はできないという回答があつたものですから。まず聞きたいのは、どういう形で、いつごろまでには大体できますよと。この整備計画原案なるものが、大体いつごろまでには何となつていふスケジュールを教えてください。 | 河川整備計画原案はいつ頃を目途に完成させるか等、スケジュール的な面も考えていく必要がある。 | 2805 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 流域委員会での検討のスタンス | 住民の皆さんの意見の中に、池田町の方でもダムは要らないという声も出ています。今の計画をつくるのに、この流域委員会では、ダムがいいとか悪いとかというものが、そういう意味で本当に市民の皆さんに対してこたえられるのか。流域委員会ではダムはやると。穴あきか、水ためかということになつてはいるから、住民の意見は切り捨てて、そつちの方で選択でやつていくという形で進まれるのか。このあたりの取り扱い、せつかくここに書いてある皆さんの御意見の取り扱い、反映の仕方はどうなつていくのか。 | 今後、原案を作成していく段階で、流域委員会の方針と異なる住民からの質問等の取り扱い、原案への反映の仕方について考えていく必要がある。 | 2806 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 治水 (河川整備) | 流域委員会は30年の計画を今煮詰めているわけですね。そういう中では、やはり治山、治水100年の計ということからしますと、今度の部子川ができたからそれで福井はもう大丈夫というわけではないわけでありまして。足羽川の治水という問題につきまして、これで事足りるではなしに、先々の問題としてやはり念頭に置いていただくことを要望しておきたいと思つています。 | 流域委員会では今後30年間の計画を審議しているが、足羽川の治水を考えた場合、ダムだけで事足りるということではない。先々の問題も見据えて考えていくべき。 | 2807 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 流域委員会での検討のスタンス | 先ほど来お話の穴あきダムについても、なじみのないダムです。なのに、非常に関心を持たれて、より具体的な費用とか機能性についての質問があります。そういうものに対して、この資料は十分に説明していないし、この流域委員会として説明できる状態じゃありません。したがつて、これまで余りに多岐の問題を比較的抽象的に話し合ひをしてきたように思つていますので、この時期に至つては、問題を一つ一つ具体的に詰めていって次に進むということが必要かと思つています。 | 今までの流域委員会は、多岐の問題を抽象的に審議してきた傾向がある。今後は、一つ一つの議題に対し具体的に詰めていく必要がある。足羽川のダムについては、規模や費用を見据えた上で流域委員会としての考えを示すべき。 | 2808 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 治水 (河川整備) | 今回の御意見を拝見しまして、やはり治水の必要性は皆さん認識されています。それをダムという形でどれぐらい具体的にカバーできるかというときに、どの位置でどれぐらいの規模を用意すべきかという問題、それから、水をためる機能をそれに持たせるか、持たせないか、このあたりを明確な関心として皆さんが持たれていることがよくわかりました。それで、一つ私が思つたのは、もともと治水の基本から言いますと、なるべく流域の大きいところで水を調節するべきである。これはダムの基本としてまず申し上げておきたいと思つています。 | ダムについては、「位置と規模」、「水を貯める機能をもたせるか、もたせないか」について、流域委員会として判断していく必要がある。 | 2809 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 流域委員会での検討のスタンス | 防災上、何を基準に判断するかといふと、我々はやはり警戒水位とかいうものである程度対策を考えていくということがございますので、今までいろいろと議論されてきている経過を振り返つてみますと、流量でお話が進んできていると思うんですね。現実、流量でどうなるのかといふのは、イメージがわきにくい部分もあるんですけれども、資料で流量が河川のその位置では水位的にはどうなるんだと、それで警戒水位を超えるから、やはり何か考えなきゃいけないということから、じゃ、どれぐらいの水量を制御すれば安全を保てるのかといふふうには、逆にそういう考え方で議論の進め方ができないかとちょっと思つているわけです。 | 警戒水位等の防災上の観点から、洪水流下を示す指標は、流量だけでなく水位も示すことによつてイメージがしやすくなり、一般の人にもわかりやすい。 | 2810 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 地域との連携 (住民説明会) | 美山の方が先だつたんですけれども、先ほどお話がありましたように、昨年の豪雨が地域の住民の方の考え方を根底から変えるような大変な水害であつたということで、反対、賛成という形で町を二分してはいると思うんですけれども、その意識もかなり変わり、以前のダムサイトでもう一度検討してほしいという意見が出ておりました。一方で、長年そういう問題をずっと引きつづけてきたことに対して、国に対して非常に恨み節のような形で意見を出されている方もおおいになりました。 | 説明会に参加して感じたことは、福井豪雨を経験したことによつて、足羽川ダムに対する住民意識に変化があつた点である。 | 2811 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 地域との連携 (住民説明会) | 皆さん20年以上前から活動をされていますので、やはり高齢化している。で、若い人たちは余り関心を示さない。説明会でも、私が行ったところは物すごく盛況といふと、いっぱいの方が多かつたんですけれども、福井市内の会場なんかを見ていると、非常に関心が低いところもあつたように思つています。やはり、国だけじゃなくて、県、それから市町村のレベルまでもう少しうまく連携をとつて、地域の方にしっかりと植えつけられるような方策を何か考えて、今回は、国なり県なり対住民と、向かい合うような形の説明会だつたんですけれども、もう少しNPOといふと、地域の団体なんかを通してもつと住民の方に浸透させていくようなやり方も今後考えていっていただきたいと思います。 | 地域の問題に対して、住民の方、特に若い人たちにもつと関心をもつてもらふ必要がある。また、説明会等を開催する場合、NPO等の団体を通じて地域に浸透させていくのも一つの方法である。 | 2812 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 流域委員会での検討のスタンス | 進め方という中で、今まで議論してきました、そして住民の方への説明会を開くという形で、時間が少し過ぎたのかなという感じがいたします。議論の絞り込みというか、今まで集中してやつてきたことが少しぼけてきたなという感じが否めない気がするんですね。今後、進めていく上においても、もう一度いろいろ意見を聞くという形のものがあるんですけれども、これはやはり、現在の議事進行に合わせるような形で、ある程度時間を置かずに説明会等をして、それをできるだけ早目にレスポンスするような形で、余り時間を置かないような努力を今以上に必要があるんじゃないかという感じがいたします。 | 説明会を開くことによつて、流域委員会の開催期間があいてしまふ議論の焦点がぼけてきた感じがする。今後進めていく上で、余り間隔をあけない等のスケジュール的な配慮が必要である。 | 2813 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 治水 (河川整備) | 環境から考えたときに、穴あきで本当にカバーできるのかどうかということ。それもいろいろ住民からの御意見も出ていますので、濁水の対策として穴あきでも大丈夫なのか、あるいは、環境問題でも、維持用水として穴あきダムで大丈夫なのかといふところを少し、出てきた意見をもとに、そつちの方で対応をどうしていったらいいのかを考えていただきたいと思います。 | 治水専用ダムについて、維持流量の確保や濁水の問題など、環境面や利水面からの検討も必要である。 | 2814 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 地域との連携 (住民説明会) | 地域によつて非常にとらえ方について温度差があるということ。私自身も一番少ないところに行きまして、これはどういうことかといふ感じがちょっと落胆はいたしました。確かに、内水で問題があつたところではあるんですけれども、同じようなことで僕は集まると思つて行ったのに、肩透かしを食つちやつたという感じがいたしました。こつち側も、どういふふうにして温度差をなくしていくのかといふことでしょうか。これは、方法論として、内容を議論することとは別に、どのような形で地域の温度差をなくしていくかということもやはり考えていく必要があると感じました。 | 説明会では、地域によつて川への関心度の温度差が見られた。川づくりに対し、いかに関心をもつてもらふかを考えていくことも重要である。 | 2815 |

◆九頭竜川流域委員会における論点整理（発言要旨集）第28回◆

| 発言状況等 | 内容区分 | | | 分野 | 発言要旨 | 主意 | ID |
|-----------|------|----|----|--------------------|--|---|------|
| | 質問 | 課題 | 提案 | | | | |
| 第28回流域委員会 | | ○ | ○ | 流域委員会での検討のスタンス | このような問題に対してこういった検討項目をやってきた、最終的に1個という形よりも、例えば、こんな形のところで絞っていったらどうでしょうかというふうな数の、ある程度の絞り込みの中で我々のところに投げかけていただいて、どんな方法でやっていくという形での絞り込みの方がいいんじゃないかという感じがいたします。 それで、先ほども言いましたように、相当議論してまいりましたし、そこの中での絞り込みでは時間がかかってきたわけですが、今の段階では、余りとろとろとろとろやっている時期ではない。できるだけ出てきた段階で、我々が最終的にどんな方向で結論を持っていったらいいかというふうなところへ、時間は余りかけないでやっていった方がいいんじゃないかという感じがするんです。 | 今まで流域委員会では相当議論を重ねてきており、そろそろ議論の絞り込みも必要。流域委員会には、ある程度の絞り込みの段階で投げかけてもらい、それについて審議していったらどうか。 | 2816 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 流域委員会での検討のスタンス | 絞り込みということに賛成なんですけど、どういう理由で絞り込んだかを明記すると説得力があると思うんです。 資料を用意していただくときに、本川で目的も絞り、形態も考えた結果はこういうダムになるんだという絞り切ったものを提示して、委員会ではやはりこれは厳しいという意見があったとか、あるいは、それもいいんじゃないかというふうに、具体的な代替案としてそれを出してほしいと思います。 | 議論の絞り込みを行う場合は、どういう理由で絞り込んだかを明記することが必要である。 | 2817 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 流域委員会での検討のスタンス | 今後のめどということについて、大体委員会がどうなって、どれぐらいで終結するのかというスケジュールの見通しがこの段階で立っていないということもちょっと変だと思えます。 やはり行政は行政として、30年間もこうやってこのダムの問題を真剣に考えてきたのだから、いつでも原案提示ができるような、そういう体制でいてほしい。委員の方からのいろいろな意見を集約するのが難しく時間がかったというなら話がわかるけれども、原案提示に近いものも2カ月も待たなければ行政が出せないというのはどうかと思う。もう少しスピーディーに、そして真剣に取り組んで時間の短縮をお願いいたします。 | 流域委員会の長期的な目途を立てて、行政にはもう少しスピーディーに時間短縮をお願いしたい。 | 2818 |
| 第28回流域委員会 | | ○ | | 治水 (河川整備) | 効果、技術的な妥当性・確実性、コスト、環境に対する影響、地域社会に対する影響、こんな項目を現状で想定し得る案に対して比較できるような資料を取りまとめていただいて、それについて再度議論をすることが、前に議論を進めるためには必要ではないかと思えます。 | 足羽川ダムの審議を進めるためには、「効果」、「技術的な妥当性・確実性」、「コスト」、「環境に対する影響」、「地域社会に対する影響」について、現状で想定し得る案との比較検討が必要である。 | 2819 |
| 第28回流域委員会 | | ○ | | 地域との連携 (地域住民対応) | 段階的な整備というのは、当初のコストを最小限にするためには非常に有効なわけですが、片や、地元といいますか、ダムを実際に受け入れる側の意識としては、なかなか段階的なものは難しいという御意見を逆に出されているのではないかと思います。 ですから、こういうものが必要であるということをお知らせしたのであれば、いわゆる最終形といいますか、これだけのものをつくるんだということをやはり明示して、その合意を得ていかないと、段階的に進めていくというのは非常に難しいという意見を逆に出されているのではないかなと思います。その点についても議論しておく必要があると思います。 | ダムの段階的な整備は、当初のコストを最小限にするための有効な手段である。一方、ダムを実際に受け入れる地元住民の意識を考慮すると、ダムの最終形を明示して、その合意を得ていかないと段階的に進めていくのは難しい。 | 2820 |
| 第28回流域委員会 | | ○ | | 治水 (河川整備) | 今の説明の中で納得したのは潮位だけなんです。あとの3川の時差については、降雨のパターンの中に含まれるべきでしょう。降雨のパターンは、地理的パターンと時間的パターンが全部入っているはずですから、同じ降雨のパターンであれば時差は同じじゃないですか。それと、氾濫流については、同じ降り方であれば右側のケースでも考慮されているはずで、されていないんですか。じゃ、右側のケースが非現実的ということですね。それなら納得しました。 | 水位計算の基本的な考え方について、もう少しわかりやすく説明して欲しい。 | 2821 |
| 第28回流域委員会 | | | ○ | 治水 (河川整備) | ここに書かれている言葉、それから今の説明は多分皆さんわからないと思うんです。それで、議論をそうやって戻すのではなくて、もともと、今言われたように、再度同じものが起きたときに、それに対しては対処できるような形が激特という話ですね。ですから、そこら辺をもう少し、こういう文章だけじゃなくて、わかりやすいような形で図面で説明できるはずですね。 | 水位計算における基本的な考え方については、文章以外にもどんな計算方法でどう違うのかを図などを使って表現した方が、わかりやすく説明できる。 | 2822 |
| 第28回流域委員会 | | ○ | | 治水 (河川整備) | 激特で河床掘削されて実際に河道断面が確保されたとしても、今後、その河床にまた上流から土砂が入ってきたら、追加でどんどん掘り続けたいといけないということも片やあるわけですから、激特をやったからこれで未来永劫何もなくても大丈夫であるとは決して考えるべきではないと私は思います。そういう位置づけであることを考えておかないといけません。 | 激特事業では、河床掘削をして河積を確保していくが、今後、その河床にまた上流から土砂が入ってきた場合、また河床掘削が必要となる。激特事業によって未来永劫何もなくていいと考えるべきではない。 | 2823 |
| 第28回流域委員会 | | ○ | ○ | 治水 (河川整備) | この暫定堤防はえらい不細工だけれども、暫定でしょうね。特殊堤の暫定の堤防になっただけだけれども、あれを奇異に思ったんです。あくまで暫定で、概成したときはどうなるんですか。 | 特殊堤の暫定補強は、今後どのように取り扱っていくのか？ | 2824 |
| 第28回流域委員会 | | ○ | ○ | 維持管理 (河川管理施設) | それから、600カ所ぐらいいっぱいあったけれども、お金の問題もあるからすべてはできないにしても、整備すると対岸はどうなるのか、強固にする逆さまはどうなのか、私はそちらを心配するんだけど。それと、点検というか、起こったところはもちろんだけど、今後のあれからしたら、堤防とかいろいろな区間の点検とかいう作業はやっているわけですか。 | 堤防の点検作業は、実施しているのか？ | 2825 |
| 第28回流域委員会 | | ○ | ○ | 治水 (河川整備) | 桜堤は、我々も余り議論の俎上に乗せてもらっていないけど、これはどんな形になるんですか。 | 桜堤は、今後どのように取り扱っていくのか？ | 2826 |
| 第28回流域委員会 | | ○ | ○ | 流域委員会での検討のスタンス | 今までやってきたもので、もうそれで河川管理者として踏み込む形の原案に近いものをつくれるのかどうか。そのあたりをお聞きしておきたい。 | 今後、流域委員会で審議していく内容は？ | 2827 |